

九州地方整備局の事故発生状況

平成24年2月末現在

[年度別事故発生状況]

年度	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
発生 件数	労働災害	(2) 28	27	(1) 34	(3) 24	(2) 31	41	(4) 36	(2) 28	(1) 35	(2) 24	(3) 17
	公衆災害	(1) 26	(2) 37	(1) 36	(1) 31	(2) 45	(1) 65	33	24	29	33	25
合計	(3) 54	(2) 64	(2) 70	(4) 55	(4) 76	(1) 106	(4) 69	(2) 52	(1) 64	(2) 57	(3) 42	

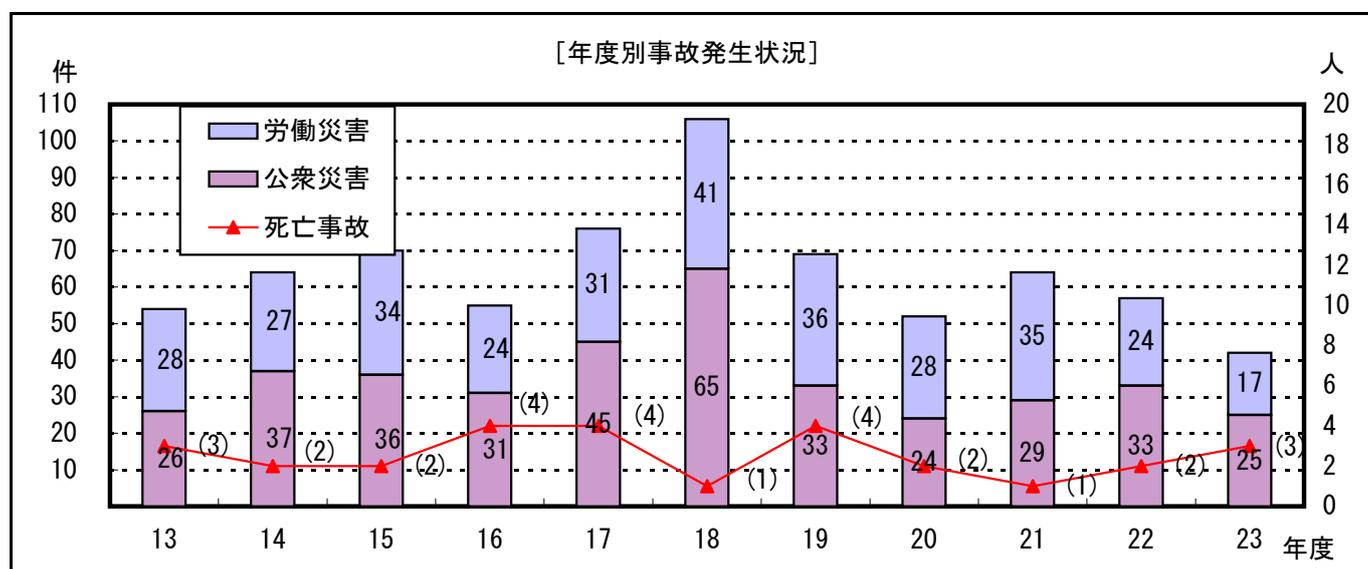
※河川、道路、公園事業における事故（港湾空港部、営繕部除く）

※（ ）書は、死者数で内書。

※直轄工事において発生したすべての事故を計上。

※労働災害とは、工事作業が起因して、工事関係者が死傷した事故。

※公衆災害とは、工事作業が起因して、第三者が死傷または第三者に損害を与えた事故。



H22年度の事故について

・平成22年度は57件の事故が発生（労働災害：24件、公衆損害：33件）

・公衆災害のうち、切断事故が多発（架空線11件、地下埋設物11件）

・死亡事故は2件

①吊り足場の撤去作業中に、安全ネットを外した箇所から作業員が転落(H=約15.0m)し、死亡した。

(墜落防止措置に伴う安全帯の設置がされていなかったこと。及び作業手順が明確でなかったこと等が要因)

②エンジンカッターを使ってU型側溝の切断作業を行っていた際に、エンジンカッターが跳ね上がり、作業員(エンジンカッターの操縦者)の首を裂傷し、死亡した。

(側溝切断地盤面に不陸があり、切断面にブレードが挟まれ、無理に引き抜こうとしたこと等が要因)

平成23年度 事故防止対策

目標	①事故発生件数の大幅な縮減 45件以下 平成12年度の45件を下回ることを目標とする。 H19:69件(4) H20:53件(2) H21:64件(1) H22:57(2) ()内は死者数
	②重大事故(死亡事故) ゼロ
	③公衆災害20件以下 (昨年33件の4割減)

事故防止重点項目

- ①架空線・地下埋設物の切断
- ②墜落・転落の防止
- ③飛来・落下の防止